

4 テーマ3：10年後に庄原市が目指すべき姿

テーマ3では、「10年後の庄原市が目指すべき姿」について、10年後の庄原市の姿を思い描きながら、グループで考えを話しました。10年後の姿として、「若い人が庄原市に帰ってこられるようになってほしい」「コンパクトなまちになってほしい」など、たくさんの意見が挙げられました。

カテゴリー	主な意見			
人口	♦交通の便を良くして庄原の人口を増やす ♦地元に戻ってきてくれる人を増やす ♦現人口の維持		♦少子高齢化を食い止める ♦地元の人を再び呼び込む ♦人口減を前提とした魅力ある町	
交通	♦交通手段の仕組みづくり	♦交通手段に苦労しない	♦交通の良い町	♦自動運転車利用
インフラ	♦インフラが全地域で整う			
娯楽	♦学生のための娯楽を増やす ♦周辺から人が集まる娯楽商業施設		♦若い人が集まる場所をもってくる	
仕事	♦県大生に庄原で働かせる ♦産業を後継者不足にさせない工夫 ♦職場環境の整備		♦庄原に戻ってきて働ける場所 ♦企業の人とのマッチングができる ♦効率化を図ることでビジネスチャンス・有能人材の確保	
まちづくり	♦コンパクトシティ化 ♦若い人のニーズを満たす ♦田畑の後継者を全国から募集（空き家バンク＋田園バンク） ♦みんなのしく若い人もお年寄りの方も安心して暮らせるまちづくり ♦庄原にいたくなるようなまちづくり ♦学生が10年後の自分がこの町で安心して暮らすイメージが持てる町 ♦自分がしてみたい！！やってみたい事が実現できるようにサポートできる町		♦若者が集うまち ♦庄原市を知ってもらう ♦庄原と言えば〇〇、特色ある町 ♦庄原に今いる人を大切にする ♦今を衰退させない	
生活環境	♦住みやすい町 ♦住んで良かったと思える町 ♦庄原市内で育ち、大学を卒業後も庄原市内で暮らしてゆける ♦お子さんがおられる方がいて、預けられる場所、施設をつくる		♦学校が少なくならないように！ ♦野菜の物々交換などができる町 ♦子育てをしやすい町	
移住定住	♦庄原に残りたいと思う町づくり ♦庄原で育つ人が残りたいと思える ♦今ある資産を活用して移住者を呼び込む		♦県大生に庄原に住んでもらう ♦庄原に戻ってきた人が活躍できる場所をつくる ♦	
デジタル活用	♦AIを活用した人件費、担い手不測の解消 ♦AIやインターネット環境の設備を整える		♦企業と働き手がつながれるようなマッチングアプリ ♦自然環境とインフラをしたAI活用社会	
財政・補助	♦財政整理 ♦奨学金の補助		♦財政を整える10年に！他の市町より大丈夫とアピール！ ♦進学等で転出した方のUターン補助	
その他	♦田や畑の提供			

5 まとめ・共有・発表

最後に、様々な人と話したことをワークシートに整理し、グループ内で共有しました。

また、すべてのグループから、グループで出た意見を発表してもらい、参加者全員で共有しました。



次回

第2回 市民ワークショップ

テーマ：理想の庄原市を実現するための取組を考えよう！

日時： 4月27日（日）13時30分～15時30分

第1回

市民ワークショップ

ニュース

令和7年3月
No.1

庄原市 企画振興部 企画課
TEL:0824-73-1128
FAX:0824-72-3322



第3期庄原市長期総合計画の策定に向け、第1回 市民ワークショップを開催しました！

令和8年度を始期とする「第3期庄原市長期総合計画」の策定に向け、市民ワークショップを開催しました。長期総合計画は、今後10年間の庄原市の将来像を描く計画であるとともに、多様な世代・立場でまちの目指す姿を共有し協力していく必要があります。

そこで、市民の方が感じている「まちの魅力」や「まちの課題」を共有し、「10年後の庄原市の姿」「理想の庄原市を実現するための取組み」を全3回のワークショップを通じて考えていきます。

第1回目は、3月22日（土）に開催しました。市民・学生・市役所職員の計42名が参加し、「将来のまちの姿を考えよう！」をテーマに様々な思いや考えを対話いただきました。

ワークショップの予定

第1回

将来のまちの姿を考えよう！
今あるまちの魅力/まちの課題/
10年後に庄原市が目指すべき姿

第2回

理想の庄原市を実現するための取組を考えよう！
将来のまちの姿の実現に向けて、取組むべき
こと/取組みテーマ別にプロジェクトを検討

第3回

協働のまちづくりに向けた取組を考えよう！
地域でできることや市民と行政が協働で実
施するプロジェクトを検討・整理

《当日のプログラム》

① あいさつ

② 事業の説明（総合計画について）

③ 情報提供

④ ワークショップ
・ワークショップの方法説明
・アイスブレイク
・ワークショップ（ワールドカフェ方式）
・まとめ

⑤ 閉会

「今の庄原市」と「将来の庄原市」について、席替えをしながら、グループで対話しました！！

1 当日のワークショップの流れ

当日は、市の長期総合計画についての説明、庄原市の現状やアンケート調査の結果を共有した後に、テーマごとに対話を行うワークショップを実施しました。最後に、すべてのグループから各テーマについて、話した内容を発表していただきました。



2 テーマ1：今のまちの魅力

テーマ1では、「今のまちの魅力」について、「庄原市のどのようなところに魅力を感じているのか」「庄原市の魅力は何か」などをグループで出し合い、共有しました。
“自然” “食” “まちの雰囲気” “庄原市に住む人の人間性” など、たくさんの魅力が挙げられました。

カテゴリー	主な意見			
自然	◆自然が豊か ◆管理されている美しい里山 ◆水	◆自然との関係 ◆勝光山 ◆四季	◆田園、自然がある ◆多飯ヶ辻山 ◆景色が良い	◆星がきれい ◆西城川
食	◆食べ物おいしい ◆原地のお米や野菜がすぐ食べられる ◆地元産のものを買える	◆食（米・牛肉・山菜など）が豊か ◆お米がおいしい ◆自慢出来る食材、土産物が多い	◆比婆牛	
歴史・文化	◆いろいろな歴史がある ◆文化財	◆昔の歴史、風景 ◆熊野神社	◆古き良き町並み ◆名勝の地	
施設・公園	◆備北丘陵公園 ◆ドライブインミッキー	◆上野公園 ◆伍楽荘ボウル	◆道の駅 ◆高校、県大キャンパスがある	
まちの雰囲気	◆自分のしたいことができる ◆好きなことを実現しやすい ◆住みやすい（お店がある/土地が安い/自然） ◆居心地が良い	◆若者が声を上げやすい ◆地域活動を支える人々が多くいて、活動が活発である ◆静かな町 ◆1人当たりの面積が広い		
人	◆人と人とのつながりが深い ◆人間性が良い ◆団結力がある ◆顔がわかる関係で地域が成り立っている	◆人が優しい ◆同じ悩みを抱えているからこそ解決策が現れる ◆受け入れてくれる人が多い		
祭・イベント	◆イベント・祭りが多い	◆盆踊りの生歌は素晴らしい		
安心・安全	◆地震が少ない	◆災害が少ない	◆犯罪、火災の少ない	
その他	◆スキーなどのウィンタースポーツ			

3 テーマ2：まちの課題

テーマ2では、「まちの課題」について、グループで話しました。課題としては、人口減少や若い人の流出、交通の利便性、働く場所、生活環境に関することなどが挙げられ、グループ内で日常生活の中で感じている課題などについて、共有することができました。

カテゴリー	主な意見		
人口	◆人口減少 ◆若い人の転出多い	◆高齢化が進む ◆県大生が三次に流出している	◆後継者がいない
交通	◆交通の利便性が悪い ◆芸備線がなくなるのではないかと ◆学生さんも高齢者の足（交通）が不便	◆行きたいときに移動できない ◆移動手段が少ないから車が必要 ◆交通手段（芸備線）、バス、地域タクシーの利用しづらい	
インフラ	◆道路や水路がすぐに直らない		
施設	◆ファミレスや公園など子供が遊ぶ、食べる所がない ◆レジャー施設がない ◆庄原市、周囲に大きなショッピング（映画館を持つ）モール施設がない	◆1町1コンビニがない ◆集まる場所がない	
仕事	◆働き場所 ◆希望する職がない ◆仕事（求人）を知る機会がない	◆人口減少に伴い仕事が無くなる ◆市内で仕事はあるがその情報が伝わっていない	
生活環境	◆電波が入らない ◆医療問題	◆子供を産む、子育てしやすい町にしていきたいこと ◆暮らしや仕事の情報が少ない	
移住定住	◆空き家の活用をもっとスムーズにする ◆若い人の定住 ◆移住も増やすが地域間競争になっちゃう	◆若者たちがUターンできる道しるべがないこと ◆若い人が庄原に帰ってきたいと思える要素が少ない ◆住宅をたてるなど重要な決定をする際決定的な強みがない	
娯楽	◆遊ぶところがない ◆クラブができない	◆若い人に娯楽がない	◆娯楽施設
その他	◆三次市等と比べ選ばれなくなっている ◆庄原に何があるか分からない	◆観光地が遠い ◆AI活用	

